

広 報紙のTENAMUビル交流スペースの記事を読んで、小林にこういう場所ができたことがとても嬉しく、ワクワクしています。お茶を飲んだり、孫を連れて行ったりと多機能にわたっているの、近いうちに行けることを楽しみにしています。

T ENAMUビルは子どもがいるのでよく利用しています。本当に便利な施設だと思われ、木育に関しては、日南まで遊びに行っていたので心から喜んでいきます。

TENAMUビル交流スペースには、連日たくさんの方が来場しています。利用して下さることで、中心市街地の活性化につながっていると思います。これからみんなで小林を盛り上げていきましょう。

や つばい元気がよかの腰痛予防「お腹の筋力」の記事を読んで、すごく役に立ちました。ありがとうございました。

い つも、新しい広報が届くのを楽しみにしています。あたたかくなり始め、いろんなイベントが次々開催されますが、広報を読んで、いろんなイベントに参加してみようと思います。これからも頑張ってください。

(モネママ=真方) 広報紙では、これからも市内のさまざまなイベント情報をお知らせしていきます。興味のあるイベントがありましたら是非参加しみてくださーい！

SUKUSUKU すくすく



かい あらた 甲斐新大くん 平成29年11月7日生

お姉ちゃん・お兄ちゃんの愛情をいっぱい受けて、これからも元気に育ってね♡ その笑顔が大好きです。 父：良嗣 母：麻弓



おがわ さくら 小川桜ちゃん 平成29年3月21日生

いつもニコニコ笑顔の桜ちゃん!! かわいい笑顔にみんなが癒されてるよ♡ お兄ちゃんと仲良く遊んでね!! 父：拓也 母：結花



おがわ ゆうせい 小川結星くん 平成26年12月31日生

元気いっばいの結星くん!! また公園でいっぱい遊ぼうね!! よいどんと仲良く遊んでね!! 父：拓也 母：結花

POST CARD

886-8501

小林市役所 地方創生課 広報こばやし編集室 行

(広報こばやし№145 2018.4月号)

お手数ですが62円切手をお貼り下さい

フリガナご氏名

(イニシャルまたはペンネームも記入ください)

ご住所

電話 ( )-( )-( )

興味を持った

コーナー

3つ

クイズの答

広報クイズ

問題：特集「一緒に〇〇を学びませんか？」 ◆ヒント：4ページから探してください。 クイズの答・興味を持ったコーナー3つ・住所・氏名・電話番号を明記して応募してください。 今月は、抽選で5人に 「西諸弁ポスター切手&ポストカード」をプレゼント。 【締切】4月20日(金曜)〔当日消印有効〕 応募は一人1枚まで。広報こばやし3月号のクイズの答えは「新庁舎」でした。抽選の結果、正解者の10人に景品を贈りました。 ※プレゼントを提供くださる方も募集しています。 【宛先】〒886-8501(住所不要)小林市地方創生課広報 FAX:23-6650 E-mail:info@city.kobayashi.lg.jp

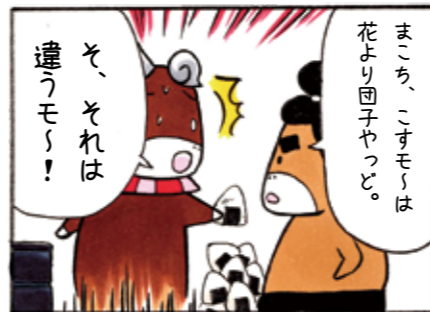
人のうごき(小林市の人口)

Table with population statistics: 人口 45,002人 (-31, -561), 男 20,818人 (-13, -239), 女 24,184人 (-18, -322), 世帯数 19,588世帯 (+2, -5)

平成30年3月1日現在現住人口 (前月比、前年同月比) 現住人口:国勢調査人口(実際に居住している人口)を元に、その後の転入・転出、出生・死亡などを増減して算出する人口。 ※平成28年10月26日に公表された「平成27年国勢調査確定値」を反映しています

こすもろ日記

画：友安よーいち 第47話「花より団子??」



お便りまっます

- ①すくすく(3歳未満) お子さんの写真に名前、ふりがな、性別、誕生日、住所、保護者名を添えて、送付ください。 ※すぐには掲載できない場合があります。 ②よもやまトーク 広報紙の感想や最近思うことなど。 ③心の花びら 短歌や俳句など。 ④疑問質問Q&A わからないことやちょっとした疑問、気付いたことなど。 ※いずれも氏名・住所・連絡先を記入ください。左頁の広報クイズにもレットライ!! 【送付先】 ・地方創生課 〒886-8501小林市細野300番地 TEL23-1148 メール info@city.kobayashi.lg.jp

心の花びら

つくしんぼ寄りそう姿母と子や 小林合歓の会 尾辻和子 日差しよし探してみるかつくしん坊 小林合歓の会 清水勝 吉都線新芽ふそろいすいすこ 小林合歓の会 吉川美子 土筆狩り葉味のほどをいたづけり 小林合歓の会 前田美知代 ひびき合う微風に水音れんげ草 東脇哲郎 不念なり我の住所は枯芒/朝食にあいさつしても馬の耳 上久保年治 ひめくりと打撲の体とかけつくらべうすらぎ行く日を指折りながら 渡辺ミエ子 癒しくれる霧島連山新燃岳自然の怖さを見せつけおる 山茶花

編集後記

文化会館で開催される「近所福祉を考えるつどい」。講師の木原さんは、「福祉の現場では、人手不足が叫ばれている。今後、より重要になるのは近所での助け合い」と訴えていました。手話の特集でも、徳永会長が「ろう者の安心・安全のためには、まずは地域社会への参加が必要」と話しています。誰もがいつまでも安心して暮らせるまちを築いていくためには、地域の力が不可欠だということを改めて実感。「まずはあいさつから」。よりよいまちづくりのため、みんなで協力していきましょう。(森本潤葵)